



ちひろ美術館がやってくる！

紅葉前線が南下し、まもなく遠い京都では紅葉の見ごろを迎えます。北海道の初雪は10月、こちらでもそろそろでしょうか。秋も深まり冬がもうすぐの季節になってきました。冬生まれですが冬の寒さはとても苦手で、夏の暑さも苦手で、という厄介な性分な私ですが、紅葉狩りは好きです。

好きつながりで、というのも変ですがいわさきちひろの絵も好きです。いわさきちひろは多くの人に知られ愛された絵本作家です。今年は練馬のちひろ美術館開館40周年、安曇野ちひろ美術館が開館20年を迎えました。そして来年はちひろ生誕100年の年になります。8月の「ホッとタイム」では安野光雅と共にちひろを語る会がありました。

青春時代に戦争を体験したちひろは、「世界中のこども みんなに 平和としあわせを」ということばを残しています。ちひろが描いた子どもや花は、今もいのちの輝き、平和の大切さを語り続けています。そんなちひろの絵（ピエゾグラフ）が20点、栗盛記念図書館にやってきます。

展示期間は11月21日(火)から12月20日(水)までの1ヶ月です。

12月16、17日にはちひろの水彩技法体験、おはなし会、講演会も計画中です。原画ではありませんし作品数も少ないのですが、ちひろ美術館に行かずともちひろの絵を楽しむことができます。ぜひ足をお運びください。

❖絵本で遊ぶ

9月にも絵本のことを書かせていただきました。図書館に勤務して、たくさんの本が出版されていること、たくさんのお絵本が出版されていることに驚かされます。東京の某大手書店では児童書コーナーが拡充されているのだそうです。

そこで思い出してみました、自分は子どもにどんな絵本を読んであげたんだっけ？と。ネットなどというものはなく書店からしか買う方法がない時代のことです。

初めて買ったのは6～7カ月頃。ディック・ブルーナの文字のない絵だけの絵本だったと思います。そして一番印象に残っているのが、せなけいこさんの「ねないこだれだ」。これを寝る前に読むとすぐにベッドに入ってくれました。「あーんあん」や「いやだいやだ」も成長に合わせて誰かさんみたいだねと言いながら読んだように記憶しています。

❁ 図書館で遊ぶ

今はいろんな絵本があります。ミキハウスといえば子ども服と思うのはおばあちゃん世代でしょうか。今は「ミキハウスの絵本」があるんです、ビックリしました。しかも「雨ニモマケズ」の色彩のきれいなこと。栗盛記念図書館にありますのでぜひご覧になってください。

「読み聞かせ」では、参加型の絵本が増えてきています。世の中たくさんの本と絵本があふれています。気に入った物を買っていると、あっという間に家が本に占領されてしまいます。自分では気がつかない、知らない絵本がたくさん図書館にはあります。多目的室はにぎやかスペースです。お子さんとゆっくり本を選びながら、読みながら過ごしてみたいかでしょうか。もちろんお孫さんとご一緒も大歓迎です。

❁ 比内支援学校のカフェがきます

来週 15 日は、「ホッとタイム」の日ですが、11 時～14 時まで比内支援学校のカフェが栗盛記念図書館に来てくれます。おいしいコーヒーを味わった後に「ホッとタイム」をどうぞ。（保）